

業 績 書

書 籍

1. 《新宋學》王水照, 朱剛 (主編), 復旦大學出版社, 2022 年 02 月。
担当範圍: 怎樣感受衰運——“氣數”成為詩語的過程及戴復古的歷史性意義 (李棟翻譯), 担当ページ: 73-108
2. 《慶應義塾図書館蔵論語疏卷六・慶應義塾大学付属研究所斯道文庫蔵論語義疏 影印と解題研究》, 慶應義塾大学論語疏研究会 代表住吉朋彦, 勉誠社, 2021 年 11 月。
担当範圍: 慶應義塾図書館蔵〔南北朝末隋〕寫本『論語疏』卷六 翻印竝に校記・附 慶應義塾図書館蔵『論語疏』卷六校記舉例 義疏の部, 担当ページ: 345-404
3. 《中日詩經學之比較研究》張文朝 (主編), 中央研究院中國文哲研究所, 2021 年 08 月。
担当範圍: 翁方綱之斷章取義說的性格以及其《詩經》學史上的位置, 担当ページ: 353-387
4. 《經學文獻學研究》顧永新 (編), 北京大學出版社, 2019 年 10 月。
担当範圍: 戴震《詩經》學與宋代《詩經》學關係論考——以《毛鄭詩考正》所引宋人注釋為綫索, 担当ページ: 200-230
5. 《宋代〈詩經〉學的繼承與演變》(李棟翻譯), 日本宋學研究六人集第二輯, 上海古籍出版社, 2017 年 10 月。
6. 『詩經解釋學の繼承と變容——北宋詩經學を中心に据えて——』, 研文出版, 2017 年 10 月

論 文

1. 「慶應義塾図書館蔵《論語疏》卷六的文獻價值」, 『國際漢學研究通訊』(北京大學出版社), 第 23・24 期, p. 18-30, 2022 年 06 月
2. 「嚴粲詩經學の二つの回路——詩篇の意味の多層性についての諸認識を通じて——」, 慶應義塾大学日吉紀要『中国研究』No. 15 p. 1-48, 2022 年 03 月
3. 「増殖する言外の意——その共時的通時的様相と詩經解釋學史上の意義——」, 慶應義塾大学日吉紀要『中国研究』No. 14, 2021 年 03 月

4. 「『言外の意』の遠近法——その多様性、および詩經の意味の重層性における位置付け——」, 慶應義塾大學日吉紀要『人文科學』, No. 35, 2020年6月
5. 「すべて本義のために——翁方綱の斷章取義說の性格とその詩經學史的位置付け——」, 慶應義塾大學日吉紀要『中國研究』, No. 13, 2020年3月
6. 「詩のわからなさに向かいあって——戴震との比較から見た翁方綱『詩附記』の特徴——」, 『中國——社會と文化』, No. 34, p. 238-268, 2019年7月31日
7. 「それでも彼のほうがまだましたから……——部分的贊美についての認識の諸相——」, 慶應義塾大學日吉紀要『人文科學』, No. 34, 2019年6月30日
8. 「篡奪者に獻げる讚歌——類淫詩說を廻る朱熹・嚴粲と戴震・翁方綱との關係——」, 慶應義塾大學日吉紀要『中國研究』第12号, 2019年3月31日
9. 「二つの斷章取義——宋代における「如切如磋, 如琢如磨」解釋の展開——」, No. 5, 『日本宋代文學學會報』, p. 1-28, 2018年12月25日
10. 「より深く潜水しより自由に游泳するために——嚴粲詩經學における小序尊重の意義 その二——」, 慶應義塾大學日吉紀要『中國研究』, No. 11, p. 43-97, 2018年3月31日
11. 「同情と配慮のレトリック——戴震『毛詩補傳』に見られる嚴粲詩經學の影響——」, 『日本宋代文學學會報』, No. 3, 日本宋代文學學會, p. 25-52, 2017年3月31日
12. 「振り捨てきれない遺産——戴震『毛鄭詩考正』における宋代詩經學の引用の意義——」, 慶應義塾大學日吉紀要『中國研究』No. 10, p. 35-107, 2017年03月
13. 「後退りしながら飛ぶ鳥のように——郝經の詩文における「氣數」の位相——」, 中國詩文研究會, 『中國詩文論叢』No. 35, p. 135-160, 2016年12月
14. 「繼承と刷新——宋代詩經學の理念と方法——」, 慶應義塾大學日吉紀要『中國研究』No. 9, 2016年03月
15. 「衰運への感受性——「氣數」の詩語化の過程、および戴復古の歴史的意義——」, 宋代詩文研究會會誌『橄欖』, No. 20 p. 267-316, 2016年03月
16. 「段昌武毛詩集解所引朱熹詩說考」, 慶應義塾大學日吉紀要『中國研究』, No. 8, 2015年03月
17. 「江湖詩人と儒學: 詩經學を例として」, 『アジア遊學』180号, 勉誠出版, 2015年3月30日。